

「西条市訪越団」がベトナム・フエ市ほか3都市を訪問

伊藤市長・楠議長をはじめ、市職員を含む西条市訪越団の11名が、2月13日から17日までの5日間、平成23年度よりJICA（国際協力機構）の支援による草の根技術協力として防災教育支援事業を実施しているベトナム国のフエ市をはじめ、ハノイ市、ホーチミン市、ダナン市を訪問しました。

今回訪問したフエ人民委員会（日本の市役所に相当する機関）では「フエ市防災教育支援事業」がスムーズに進んでいるとのお話がありました。

現地協力機関であるフエ農林大学では、災害弱者への支援により防災力と農作物生産力を向上させ、フエ市全体の発展に貢献したいという意見が聞かれました。

そのほか京都大学と連携して災害弱者への支援を行っているフン・バン村を訪問し、住民の方から直接お話を伺いながら取り組みの内容を視察しました。

「フエ市防災教育支援事業」を実際に行っているファン・サオ・ナム中学校を訪問

した際には、西条市がもつ防災に関する経験とノウハウを、資料を通じて提供してほしいとの意見をいただきました。

さらに今回の訪問では、成長著しいベトナムの産業と経済の状況を視察するためにハノイ市、ホーチミン市、ダナン市も訪れました。

ハノイ市では、在ベトナム日本大使館の谷崎泰明特命全権大使を表敬訪問しました。谷崎全権大使からは、日本とベトナムの関係や、来年が日本とベトナムの国交回復40周年に当たることなどを伺い、西条市とフエ市の交流がさらに深まることを期待するとの話をお聞きしました。

また、ホーチミン日本商工



▲フエ農林大学を表敬訪問



▲ファン・サオ・ナム中学校を訪問



▲フン・バン村での状況聞き取り



▲在ベトナム日本大使館の谷崎泰明特命全権大使（中央）を表敬訪問

フエ市防災教育支援事業

JICA（国際協力機構）が草の根技術協力として支援し、平成23年度より3年間の計画で開始された事業で、平成16年の台風被害を契機に西条市が小学6年生を対象として進めている「12歳教育」をフエ市に紹介するとともに現地に合った形でプログラムを開発、実践し、フエ市の防災力向上を図ることを目的としています。